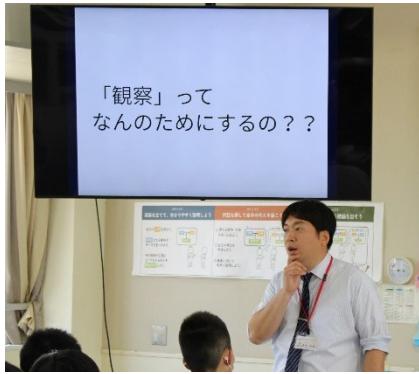


日時	4月16日(火)3限	教科書	理科の世界 p.12~20 (大日本図書)
クラス	1年4組	本時の目標	「観察」する際の視点に注目し、様々な観察器具の使い方を身につける。
授業者	赤星征典	本時の狙い	この単元では、生徒が生物を比較して見出した共通点と相違点をもとに分類の基礎を学ぶことを狙いとしている。本時では、観察の意義や器具の使い方に触れ、今後の観察に活かすスキルを身につけさせたい。
教科	理科		

授業の流れとポイント (白いふきだし：発言、黄色のふきだし：ポイント)

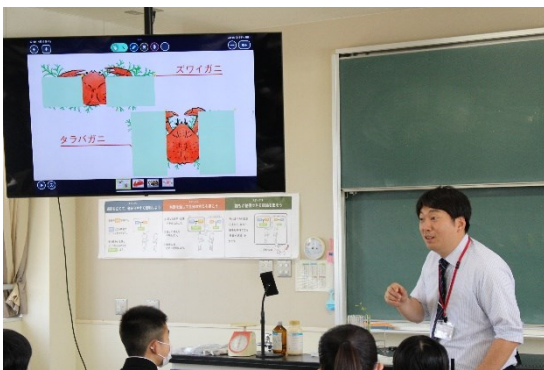
## 0. 導入



「観察」って何のためにするの？

いろいろなところまで見られるようになるため。自分なりの考えを持つため。新たな発見をするため。

「観察」について、これまでの知識や経験をもとにして、その意味をたずねることで、導入としての目的意識を生徒たちに持たせている。



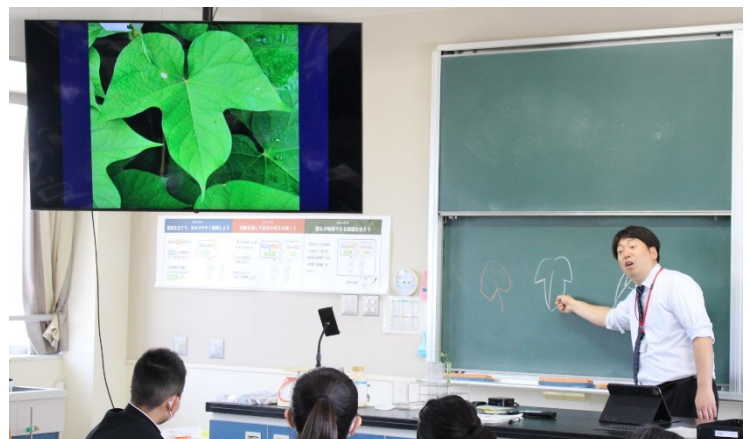
今まで見たことがあるもので考えてみよう。カニって足何本？カニって見たことはあるけど、そんなに観察したことはないだろうから、足が何本あるかは分からないね。

身の回りのものでも意識して見ていないと気づかないことがあることを確認している。＝観察の必要性への気づき



じゃあアサガオはどうだろう？みんな小学校で育てたよね？どんな葉っぱの形をしていたかな？

これまでの経験をふまえて、葉っぱの形を考えさせ、観察するとはどういうことなのかを全体で共有した。  
＝観察の視点への気づき





## 1. 観察に必要な知識の確認



プリント・タブレットで知識面の確認を行う。その際、生徒はタブレットを随時確認することで、自分のペースで学びを進めることができる。  
→ルーペなど、観察に必要な器具の使い方についても確認する。

## 2. 観察とまとめ

様々な植物を用意しているので、実際に観察してみよう。何を観察すればよいのだろうか？

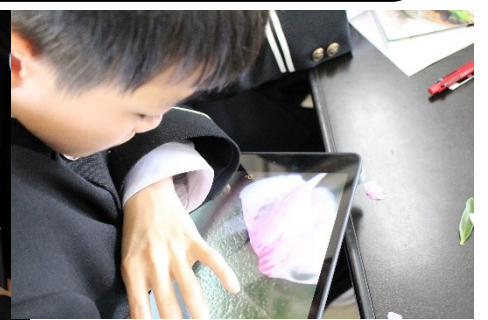
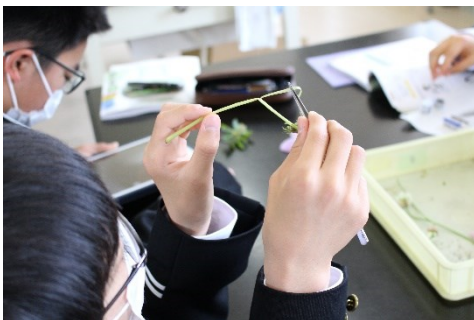


ルーペの使い方などを観察しながら確認し、間違った使い方をしている場合には適切なフィードバックを与える。



タブレットで撮影しただけでは気づくことのできない、細部について、ルーペを使いながら丁寧に観察を進める姿が見られた。

それぞれの生徒の関心に合わせて観察の対象を選択し、様々な方法で結果をまとめる姿が見られた。



## 3. 振り返り

観察するとはどういうことか、本時を通して考えたことをロイロノートにまとめさせる。

